

社協だより

第82号 平成31年3月1日発行

編集・発行



社会福祉法人
名取市社会福祉協議会

名取市増田字柳田80 市役所西棟
TEL022-384-6669 FAX022-384-6844
<http://www.natorisyakyo.or.jp/>



閑上の再生に向けて。夢は無限大。

平成30年11月5日(月)、閑上中央第一団地集会所にて閑上地区情報交換会を開催しました。

(関連記事を4頁に掲載しています。)

平成31年4月
名取市社会福祉協議会の事務所を移転します

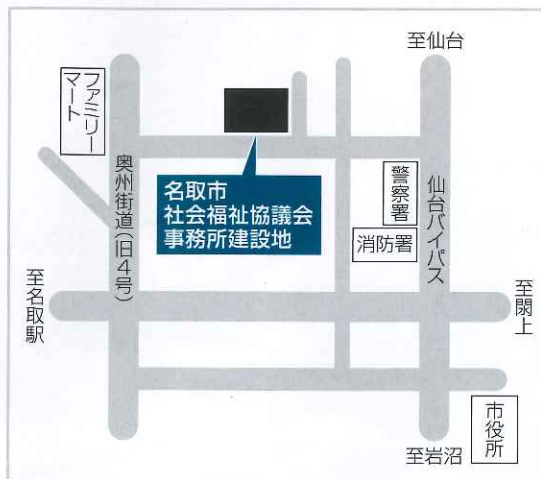
名取市社会福祉協議会の事務所建設については、平成30年10月1日発行の社協だよりに掲載し、お知らせしたところですが、このほど、住所が決まりましたので、引越しのスケジュール(予定)も含めてお知らせします。

新しい事務所の住所は、名取市増田五丁目13番35号となりました。名取市役所



▲名取市社会福祉協議会の事務所外観 (H30年12月時点)

から国道4号バイパスを仙台方面に向けて進み、岩沼警察署増田派出所から左折し、西へ130メートル進んだ右手(北側)になります。(※左記の略図を参照してください。)



建設工事は、2月中旬の完成を目指し、2月末までには完了検査などを終え、その後、電話回線や備品の搬入など引越作業の準備に取り組み、現時点での引越日は、3月23日(土)と24日(日)の両日を予定しています。

引越し前日の3月22日(金)の午後6時から3月25日(月)の午前8時30分までは電話、

FAX、電子メール等は使用できなくなります。

また引越し翌日の3月25日(月)から29日(金)までは新旧の両事務所での業務となり、皆さまにはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご了承を賜りますようお願い申し上げます。



▲内装工事中の事務所内観 (H30年12月時点)

なお、新しい事務所の詳細については、改めて5月1日発行の社協だより号外に掲載し、お知らせいたします。

名取市社会福祉協議会事務所移転の概要

- ◆ 住所
〒981-1224 宮城県名取市増田五丁目13-35
- ◆ 電話番号
022-384-6669 (代表) 変更なし
- ◆ 引越作業
3月23日(土)、24日(日)
※3月22日(金)18:00~3月25日(月)8:30まで電話、FAX、電子メール等は使用できません。
- ◆ 新事務所での業務開始
4月1日(月) 8:30

第44回名取市社会福祉大会
を開催しました

平成30年11月30日、名取市文化会館の中ホールを会場に第44回名取市社会福祉大会を開催しました。

今回は、平成30年で名取市市制施行60周年を迎えたこともあり、記念大会に位置づけ、名取市において活動する福祉関係者など総勢380名の参加者を迎えての大会となりました。

第1部の記念講演では、公益社団法人

宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンターの保健師 齋藤和子さんを講師に迎え、「知って守ろう」心の健康「それぞれの地域活動を実践するために」と題した講演を行いました。

齋藤さんには、保健師として宮城県中央児童相談所や宮城県子ども総合センター、宮城県精神医療センターで勤務した経験を基に、地域で活動を実践している支援者のこころのケアにも触れ、ストレス疲れを和らげる方法など有意義な講演をいただきました。

また、第2部では、日頃より各分野で福祉に功績のあった個人、団体代表合わせて46名に対し、社会福祉協議会ほか5団体から表彰状、感謝状の贈呈を行いました。



▲記念講演の講師 齋藤 和子さん



▲表彰式典
名取市手をつなぐ育成会の山川美和子会長から受賞者へ感謝状の贈呈

被災地(広島)に

職員を派遣しました

平成30年7月豪雨により、西日本を中心に甚大な被害がありました。豪雨により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されました皆さまに心からお見舞い申し上げます。

今回の豪雨災害では、被災地域の社会福祉協議会(以下「社協」といふ)より、全国社協を通じて応援職員の派遣要請があり、平成30年7月12日から10月17日までの間、延べ212人の県内社協職員が派遣されました。

名取市社協も派遣要請に応じ、平成30年9月21日から9月27日までの間、職員1名を広島市安芸区社協が開設した「安芸区災害ボランティアセンター」に派遣しました。



▶水路から土砂を掻き出す作業。

災害ボランティアセンターでは、主に被災現地の活動を支える「調整役」として、作業依頼者との調整、活動ボランティアへのオリエンテーション、ニーズ現地調査など、運営支援を通じ被災者支援を行ってきました。

日本全国で自然災害が多発しており、2018年だけでも大阪北部地震(6月)、西日本豪雨災害(7月)、台風21号(9月)、北海道胆振東部地震(9月)などが大きな被害をもたらしました。どの災害時でも多くのボランティアが被災地支援活動を展開しています。

▲被災現場。
床に残った足跡が悲惨さを物語る。



▶ボランティアにより、畳をあげて泥出し作業が進められました。



今後も社協ネットワークを活かし、災害ボランティアセンター及び被災地社協の支援を行い、被災された方々の生活の復旧・復興を応援してまいります。



▲全国から集ったボランティアが力を合わせて作業しました。

つながり*支え合い*楽しく

これからも地域で暮らして行こう!

生活支援体制整備事業活動状況



地区情報交換会を 開催しました

名取市社協では、名取市からの委託を受け、「生きがいと安らぎあふれる健康と福祉のまちづくり」を実現するため、「生活支援体制整備事業」に取り組んでいます。

3年目となるこの事業ですが、初年度から開催していた情報交換会も今年度で全地区にて開催したことになります。

当初、「まずは地域のこと、生活の様子、地域にある支え合い活動を教えてもらおう!」と始まった情報交換会でしたが、開催を重ねるごとに、各地区の魅力や強み、伝統や文化を知る機会となりました。今年度は那智が丘、閉上、相互台、ゆりが丘の4か所で実施、東北こども福祉



▲マイクを持っている方が大坂先生です。わかりやすく、ユーモアたっぷりにお話しいただきました。

専門学院副院長の大坂純先生や宮城県社会福祉協議会職員の皆様にご講師をお願いし、地域で住民同士の支え合いがなぜ大切なのか、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくためにはどんなことが大切なのかをお話いただきました。



▲グループワークは、わいわいがやがやと賑やかに行われました。

後半は、住民の皆さんが行っている支え合い活動や地域のお宝にはどんなものがあるのか、また、その活動にはどんな効果があるのかについて、グループワークを行いました。

参加した皆さんからは、「カタクリの群生地があり、住民同士の交流や観光資源として活用されているよ」「那智が丘」、「たすけ隊たすけられ隊を作り、災害に備えているよ」「ゆりが丘」など、地域の様子をお聞きすることができました。

どの地区でも地域に対する愛着、誇りを感じる情報交換会でした。

地域支え合い報告会

2月8日、名取市文化会館中ホールで地域支え合い報告会を開催しました。

地区情報交換会でもご協力いただいた大坂純先生、山田市長をコメンテーターにお迎えし、地域住民4名の方から、支え合い活動の様子を写真や実演を交えながら発表いただきました(発表いただいた方は左頁上部のとおり)。

今回発表いただいた4名の皆さんはもちろん、地域で活動している多くの方から、「楽しいから、自分がやりたいから活動しているよ」という声をお聞きます。

これからも住み慣れた地域で暮らして行くためには、「つながり」「支え合い」、そして何より「楽しく」が大切なのだと、改めて実感できる報告会でした。



地域支え合い報告会発表者の皆さん



那智が丘野菜市
お茶しましょの会

高橋 範幸さん

第1・3金曜日に地区の公園で開催している野菜市と隣接する集会所でのお茶会についてお話しいただきました。



関上中央第一団地管理組合

C棟 棟長 遠藤 庄二さん

復興公営住宅の管理組合が行っている見守り活動、住民同士の交流の場の開催の様子について、お話しいただきました。

ロコモバイバイサークル
(相互台地区)

門屋 ヨシさん

公民館講座をきっかけに、仲間を集め始めたダンベル体操の活動について、実演を交えお話しいただきました。



もみじ会
(ゆりが丘・みどり台地区)

菊池 志子さん

20年以上も前から開催されている食事会の様子について、継続する大切さなどお話しいただきました。



福祉体験

防災学習
などなど

地域におじゃま しました!



▲声掛けをしながら、乗っている方の立場になって…。実際に体験してみると気づくことが沢山あります。

参加された方からは、「今度は外に出て、自分たちの地域がみんなにとって優しい地域なのか調べてみたい」といった声がかれました。

今回は、車いす介助体験、視覚障がい介助体験、高齢者疑似体験を行いました。介助する際は声掛けが大切なこと、高齢になった時にどんな助けがあれば嬉しいのかなど、実際に体験することで感じていただきました。

増田西地区福祉委員会
キャップハンディ体験

非常食や救急箱の中身を確かしてみようと思っ「老人クラブに参加して顔を合わせておくことも備えのひとこと」といった声も聞かれ、改めて、備えの大切さについて学ぶ機会となりました。



▶カルタは大盛り上がり! 盛り上がりすぎて、減災の中身が頭に入っただけで済んだそうです。

参加された皆さんからは「大掃除と共に、非常食の準備や避難所の確認の大切さ、普段のつながりや地域の中で顔の見える関係づくりが、いざという時の備えにつながることを学びました。」

本郷老人クラブでは、清掃活動と勉強会を年6回開催しています。12月13日の勉強会では、「災害への備えについて考えてみよう!」というテーマのもと、減災〇×クイズと減災カルタ(東北福祉大学で作成した防災に関する知識を取り入れたカルタ)を実施しました。

本郷老人クラブ福寿会
防災・減災勉強会

赤い羽根共同募金をはじめ、たくさんの募金活動へ ご協力をいただきありがとうございました。

戸別募金の地区内訳

地区	募金額(円)
増田	1,160,760
増田西	1,013,800
名取が丘	494,700
閑上	162,500
下増田	732,900
館腰	852,300
愛島	513,870
高館	562,500
相互台	563,200
ゆりが丘・みどり台	338,000
那智が丘	243,500
合計	6,638,030

赤い羽根共同募金へのご協力

平成30年度 募金実績額報告
(平成31年1月末現在)

7,003,573円

(内訳)

募金種別	金額(円)
戸別募金	6,638,030
職域募金	151,402
学校募金	92,167
窓口募金等	121,974
合計	7,003,573

街頭募金へのご協力

28,038円

ありがとうございました。



平成30年10月8日、宮城県名取北高等学校奉仕活動部が、イオンモール名取にて街頭募金運動を実施しました。

皆さまからのご協力、誠にありがとうございました。



▲応援団さながらの大きな声での呼びかけに、多くの方からお応えいただき募金を集めることができました。

平成30年度に寄せられた義援金について報告します。

皆さまからの善意は、宮城県共同募金会と中央共同募金会を通して該当県の共同募金会へ届けられました。

- 平成30年大阪府北部地震義援金 10,668円
- 平成30年7月豪雨災害義援金(中央共同募金会) 57,552円
- 平成30年7月暴雨災害ボランティア・NPO活動サポート募金(中央共同募金会) 5,741円
- 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金 75,793円

箱塚つつみ町内会様 50,000円
愛島地区福祉委員会様 23,510円 ほか



義援金への募金

総額 149,754円

(平成31年1月末現在)

あたたかい
善意を
ありがとう
ございます

名取市社協に寄付をして いただいた方々を掲載しました。

善意の気持ちを大切に、みなさまに喜んでいただけるような活用をさせていただきます。(平成30年9月1日～平成31年1月31日の間)



【現金の寄付】

(敬称略)

月 日	氏 名	金額 (円)
H30. 9.14	京浜精密工業株式会社 (横浜市)	100,000
9.18	みちのくフリーマーケット協会 (増田西)	5,000
9.25	雇用促進愛島宿舍自治会 (愛島)	3,400
9.27	名取市身体障害者福祉協会 会長 今野 栄希	1,500
10. 2	有限会社角栄ホーム リファイン名取 (増田西)	66,105
10.17	増田西地区町内会連合会 (増田西)	25,090
10.17	名取が丘公民館「明昭大学」 (名取が丘)	600
10.19	名取市ボランティア連絡会 名取が丘支部 (名取が丘)	3,000
10.26	グラウンド・ゴルフ名取市協会	1,400
11. 5	JA名取岩沼 やすらぎホール美田園 (下増田)	50,311
11. 6	那智が丘公民館まつりコーヒーコーナー係 (那智が丘)	7,954
11.13	名取が丘公民館「男UP倶楽部」 (名取が丘)	435
11.19	スカイラケッツ (ゆりが丘)	13,060
11.19	市制施行60周年記念第20回ゆりが丘公民館まつり実行員会 (ゆりが丘)	9,800
12. 3	みちのくフリーマーケット協会 (増田西)	5,000
12. 3	増田グラウンド・ゴルフ愛好会 会長 片山 正己 (増田)	2,400
12. 3	増田西公民館「悠々セミナー」 (増田西)	117
12. 6	増田西婦人会 会長 村上 禮子 (増田西)	10,000
12.11	増田婦人会 (増田)	25,000
12.11	ゆりあげ支援ボランティア「てんしのわ」 (仙台市)	155,944
12.11	原 直史 (東京都)	10,000
12.18	若草会 (名取が丘)	5,538
H31. 1.10	愛島婦人会 (愛島)	8,000
1.17	名取市地域婦人団体連絡協議会	5,000
1.31	名取が丘公民館「健康献立!～病気予防は食事から～」 (名取が丘)	21

*その他、匿名希望の方から寄付金 (5件・11,734円) をいただきました。

【物品の寄付】

(敬称略)

月 日	氏 名	物 品 名	払い出し先
H30. 9. 4	メガネの相沢名取店 (増田)	老眼鏡クーポン券 20組	市内高齢者

*その他、匿名希望の方から物品 (4件・紙オムツ、玄米、タオル等) の寄付をいただき、市内高齢者福祉施設へ払い出しました。

問合せ先
名取市社会福祉協議会
配食サービス担当までお気軽に
お電話下さい。
TEL 0222 (3) 684 (6) 6669

活動日 毎週火曜日・木曜日
(どちらも10時30分～12時30分)
*1回につき8軒程度の配達です。
*月1回から活動できます。
活動日は相談に応じます。

応募資格 74歳までの方
*応募は1日体験後でも可能です。
*登録後は研修期間があります。

運転ボランティア募集のお知らせ
平成31年4月から活動できる方を募集します。
配達ボランティアの方と二人一組でお弁当を届けていただきます。配達先までは社協の公用車を使用して、活動していただきます。

受付開始日 平成31年3月15日(金)
*申込用紙は社協事務所に備え付けてあります。(昨年度用の用紙は使用できませんのでご注意ください。)

平成31年度 ボランティア保険の事前受付
*社会福祉協議会の窓口へ保険料を添えてお申し込みください。保険料は、つり銭のないようにご準備ください。ご協力をお願いいたします。

お宝活動

お知らせします!

住民の皆さんが行う支え合い活動「お宝」をご紹介します!



6 なかよしクラブ (館腰公民館)

毎月第4金曜日の10時~12時に、子どもの遊び場や保護者の交流の場として活動しています。地域の公園でお友達同士のつながりから始まった活動ですが、子どもたちが安全に遊べる場所を…と公民館で開催するようになったそうです。未就学児から小学校低学年くらいのお子さんが参加し活動されています。

この活動を通し、お母さんとお子さんはもちろん、お父さん同士も仲良くなったそうです。わいわい賑やかに楽しく、元気になる集まりです!

7 那智が丘ウォークラリー (那智が丘地区)

現在100名以上の方が登録し、各自のペースで、時にはみんなで集まってウォーキングをしています。「誰でも参加しやすい活動を」と考え、発起人の馬場さんが那智が丘公民館と共に作り上げた活動です。

外出のきっかけ、健康づくり、防犯になっている活動ですが、仲間づくりや地域の魅力発見にもつながっているそうです。

那智が丘の彫像めぐりや自然観察を行いながらウォーキングをする等の企画も年数回行っています。

誰でも参加可能な活動です。皆さんも一緒にいかがですか?



認知症サポーターは、

つながりあい、支え合う地域づくりをめざして認知症の人や家族を支え守る応援者です。

「応援者」が地域にたくさんいることをめざして養成講座を開催します。

平成30年10月1日号にてご案内した養成講座には多くの応募をいただきありがとうございました。平成30年度2回目の養成講座を下記のとおり開催しますので、ご応募をお待ちしています。

◆日時 平成31年3月28日(休) 10:30~12:00

◆場所 名取市文化会館 希望の家

◆対象 名取市民の方で、関心のある方

◆参加費 無料

◆内容
・認知症サポーターとは
・認知症の理解と症状や行動心理
・〈寸劇〉認知症の方への関わり方

◆申込方法 3月14日(休)までにお電話でお申込みください。

◆電話番号 022-399-8856 (指定居宅介護支援事業所ほっとなとり 専用電話まで)

受講された方には、
認知症サポーターの証
“オレンジリング”
をお渡しします。



【お問い合わせ、応募先、ご相談】

社会福祉法人 名取市社会福祉協議会

〒981-1292 名取市増田字柳田80番地 TEL 022-384-6669

【4/1から 〒981-1224 名取市増田五丁目13番35号】

ホームページもご覧下さい。http://www.natorisyakyo.or.jp